

令和7年3月31日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

会 派 名 新政会

代表者名 代表 市村 喜雄



政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

須賀川市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、令和6年度政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収 入 政務活動費 1,800,000 円
(30,000 円× 5 人× 12 月)
(円× 人× 月)

2 支 出 (単位：円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	1,317,980	①視察研修（北海道方面） 584,585
		②視察研修（四国方面） 518,035
		③オンラインセミナー（㈱廣瀬行政研究所） 75,880
		④視察研修（東京電力福島第一原子力発電所） 139,480
資料作成 購入費	25,256	①参考図書購入（ガバナンス） 14,256
		②参考図書購入（日本教育新聞） 11,000
広報費	298,045	①会派報発行 298,045
事務費	0	
計	1,641,281	

3 残 額（返還額） 158,719 円

* 利息分は含めない。

政 務 活 動 費 会 計 帳 簿

令和6年度

経理責任者 鈴木 洋二

月 日	項 目	収 入 額	支 出 額	備 考	支出項目
4/22	上半期政務活動費	900,000			
4/23	参考図書購入		14,256	ガバナンス	資料作成購入費
6/24	行政視察旅費		584,035	@116,807円×5人	調査研究費
6/24	振込手数料		550		調査研究費
10/21	下半期政務活動費	900,000			
10/25	行政視察旅費		518,035	@103,607円×5人	調査研究費
12/10	参考図書購入		11,000	日本教育新聞	資料作成購入費
1/14	オンラインセミナー 受講料		75,000	@15,000円×5人	調査研究費
1/14	振込手数料		880		調査研究費
2/3	行政視察旅費		139,480	@27,896円×5人	調査研究費
3/24	会派報		298,045	会派報発行	広報費
収 支 計		1,800,000	1,641,281	残額 158,719 円	

精算確認年月日

令和7年3月31日

確認者氏名：市村 喜雄



令和6年度 政務活動費実績書

会派名 新政会

事業名	事業内容
行政視察	令和6年7月3日 参加者5名 苫小牧市「自動運転バス実証事業について」 令和6年7月4日 参加者5名 登別市「議会改革について」「消防庁舎の移転について」 令和6年11月11日 参加者5名 京都府木津川市 「消防本部の移転について」 令和6年11月12日 参加者5名 香川県三豊市「部活動の地域移行について」 令和7年2月4日 参加者5名 福島県双葉郡大熊町・双葉町「東京電力福島第一原子力発電所施設視察」
研修会	令和7年1月24日 参加者5名 オンライン研修 廣瀬行政研究所主催 「持続的な地方財政のための予算」
会派報発行	令和7年3月24日 会派報発行 新政会だより 議会の時間 令和6年度活動報告 ・令和7年度へ向けての要望（令和6年11月8日提出） ・行政視察研修報告

調查研究費

令和6年7月25日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

須賀川市議会 新政会

代表 市村 喜雄



視 察 研 修 報 告 書

先に実施した視察研修概要について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 期 日 令和6年7月3日（水）～5日（金）
- 2 研 修 地 北海道苫小牧市、北海道登別市
- 3 研修内容
 - (1) 北海道苫小牧市
「自動運転バス実証事業について」
 - (2) 北海道登別市
「議会改革について」
「消防庁舎の移転について」
- 4 参 加 者 5名
市村喜雄、鈴木正勝、石堂正章、鈴木洋二、柏村修吾
- 5 概 要 行政調査日程及び調査内容は、別紙資料のとおり

以 上



令和6年5月30日

須賀川市議会議長 大寺 正晃 様

会 派 名 新政会

代表者名 代表 市村 喜雄



視 察 研 修 届

下記により視察研修を実施しますので諸般の事務処理についてよろしくお取り計らいください。

記

- 1 期 日 令和6年7月3日（水）～5日（金）
- 2 研 修 地 北海道苫小牧市、北海道登別市
- 3 研修内容
 - (1) 北海道苫小牧市
「自動運転バス実証事業について」
 - (2) 北海道登別市
「消防庁舎の移転について」
「議会改革について」
- 4 参 加 者 市村喜雄（代表）、鈴木正勝、石堂正章、鈴木洋二、柏村修吾
- 5 旅 費 584,035 円



須賀川市議会「新政会」 行政視察日程

《視察先及び研修項目》

- ① 北海道苫小牧市 「自動運転バス実証事業について」
- ② 北海道登別市 「消防庁舎の移転について」
「議会改革について」

【1日目】 7月3日（水）

福島空港 ————— 新千歳空港（昼食） ————— 南千歳駅 ————— 苫小牧駅

ANA1113便 JR区間快速エアポート75号 JR千歳線・室蘭行
札幌行

9:35発/11:10着 12:39発/12:42着 12:58発/13:20着

————— **苫小牧市視察** ————— 宿舎（苫小牧市内）

タクシー **（苫小牧市役所）** タクシー

(14:00～15:30)

【2日目】 7月4日（木）

宿舎 ————— 苫小牧駅 ————— 幌別駅 —————（昼食）————— **登別市視察**

徒歩 JR室蘭本線・室蘭行 徒歩 徒歩 **（登別市役所）** 徒歩

10:15発/11:10着 (13:30～16:00)

幌別駅 ————— 登別駅 ————— 宿舎（登別市内）

JR室蘭本線・苫小牧行 タクシー

17:17発/17:25着

【3日目】 7月5日（金）

宿舎 ————— 登別駅 ————— 南千歳駅 ————— 新千歳空港（昼食）

タクシー JR室蘭本線・千歳線 JR区間快速エアポート66号
千歳行 新千歳空港行

10:27発/11:28着 11:44発/11:47着

————— 福島空港

ANA1114便

15:15発/16:45着

新政会視察旅費額

7月3日(水)～5日(金) 2泊3日

議員 5人

※議員1人当たりの金額

項目	金額	期日	行程	距離(km)	金額(円)	備考
航空運賃	76,940	7/3	福島空港⇒新千歳空港	644.0	38,470	
		7/5	新千歳空港⇒福島空港	644.0	38,470	
鉄道運賃	3,490	7/3	新千歳空港⇒南千歳⇒苫小牧	29.8	660	
		7/4	苫小牧⇒幌別	48.4	1,130	
		7/4	幌別⇒登別	7.9	0	同一地域内8km以内のため
		7/5	登別⇒苫小牧⇒南千歳⇒新千歳空港	70.3	1,700	
車賃	777	7/3,5	須賀川市役所⇄福島空港	21.0	777	10.6km×2≒21km×37円
宿泊	26,600	7/3	苫小牧市内宿泊	乙地方	13,300	
		7/4	登別市内宿泊	乙地方	13,300	
日当	9,000	3日分	3,000円×3日			9,000
計	116,807					

※旅費計 一人当たり 116,807円 × 5人 = 584,035 円

合計

584,035 円

イ.現金・小切手による振込金受取書(兼振込手数料受取書)
☒ 預金払戻請求書 振込受付書(兼振込手数料受取書)
預金口座振替による

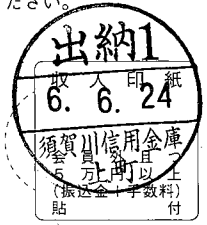
お振込日 和暦 年 月 日 6 6 24 (受付日 6 年 6 月 24 日)

お振込先	須賀川	信金	銀行	信組	農協	その他	本	支店
お振込金種目	1.普通口座 2.当座 4.貯蓄 9.その他	口座番号	0680011	金額	十億 億 千万 百万 十万 万 千 百 十 円	¥ 4 8 3 0 5 0		
受取人	セイ カ) ト ラ ブ ッ ク ス							
おなまえ	(株) ト ラ ブ ッ ク ス 様							
ご依頼人	セイ シン セイ カイ セイ ム カ ッ ト ヲ							
おなまえ	新 政 義 派 活 動 費 代 理 人 須 賀 川 市 中 区 1 丁 5 番 1 号							
おところ	(おでんわ 090 - 1493 - 8669)							

手数料 550 うち消費税(10%) 50 円

会 員 非 会 員

〈お願い〉
○振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のためお振込が遅延または入金できないことがあります。
○通信機器・回線の障害など、やむを得ない事由によってお振込が遅延することもありますのでご了承ください。



当金庫をご利用いただきまして
ありがとうございます。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

須賀川信用金庫 上町支店
登録番号 T1380005005468

請 求 書

令和 6 年 6 月 21 日

須賀川市議会 新政会

様

下記の通り請求致します

〒962-0847 福島県須賀川市諏訪町20

株式会社トラベ

代表取締役 佐久間

TEL 0248 (75) 2306・FAX 0248 (75) 2156

名 称 : 行政視察

行 き 先 : 北海道、登別市・幌別町

期 間 : 7月3日(水)～3日間

摘 要 :

請求金額 ￥483,600 —

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額
航空券代(福島～千歳、往復)	5	人	76,940	384,700
JR券	5	人	3,780	18,900
宿泊券	5	人	14,900	74,500
企画料金(特別補償1,500万)	5	人	1,100	5,500
小 計				483,600
前 受 金 (予 約 金 ・ 内 金)				0
合 計 金 額				483,600

備 考

※ 恐れ入りますが振込み手数料は、お客様ご負担でお願いいたします。

振込先 : 東邦銀行 須賀川支店(普)1217063 東邦銀行 須賀川東支店(普)0375438
須賀川信用金庫 本店(普)0680011 福島県商工信用組合 須賀川支店(普)3048422

口座名 : (株)トラベックス 代表取締役 佐久間光一

令和6年12月4日

須賀川市議会議長 佐藤 暲二 様

須賀川市議会 新政会

代 表 市村 喜雄



視 察 研 修 報 告 書

先に実施した視察研修概要について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 期 日 令和6年11月11日（月）から令和6年11月13日（水）
- 2 視察先及び視察内容
 - (1) 京都府木津川市（相楽中部消防組合）

「消防庁舎の移転について」
 - (2) 香川県三豊市

「部活動の地域移行について」
- 3 参加者 市村喜雄（代表）、鈴木正勝、石堂正章、鈴木洋二、柏村修吾
- 4 概 要 行政調査日程及び調査内容は別紙添付資料のとおり



令和6年10月16日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

会 派 名 新政会

代表者名 代表 市村 喜雄



視 察 研 修 届

下記により視察研修を実施しますので諸般の事務処理についてよろしくお取り計らいください。

記

- 1 期 日 令和6年11月11日(月)～13日(水)
- 2 研 修 地 京都府木津川市、香川県三豊市
- 3 研修内容
 - (1) 京都府木津川市(相楽中部消防組合)
「消防庁舎の移転について」
 - (2) 香川県三豊市
「部活動の地域移行について」
- 4 参 加 者 市村喜雄(代表)、鈴木正勝、石堂正章、鈴木洋二、柏村修吾
- 5 旅 費 518,035 円



須賀川市議会「新政会」 行政視察日程

＜視察先及び研修項目＞

- ① 京都府木津川市（相楽中部消防組合消防本部）
「消防本部の移転について」
- ② 香川県三豊市
「部活動の地域移行について」

【1日目】 11月11日（月）

福島空港	伊丹空港	あべの橋駅	天王寺駅
ANA1696便	空港リムジンバス 伊丹空港線 あべの橋駅行	徒歩	JR大和路線大和路快速 加茂行
8:05発/9:15着	9:55発/10:25着		10:36発/11:08着
木津駅	(昼食)	木津川市視察 (相楽中部消防組合消防本部) (13:30～15:00)	放出駅
徒歩	タクシー	タクシー	JR東西線・学研都市線快速 新三田行
			15:59発/16:47着
新大阪駅	岡山駅	宿舎（岡山市内）	
JRおおさか東線 大阪行	JR山陽新幹線 のぞみ43号(N700系)・博多行	徒歩	
17:04発/17:20着	17:41発/18:25着		

【2日目】 11月12日（火）

宿舎	岡山駅	坂出駅	高瀬駅	(昼食)
徒歩	JR快速マリンライナー17号 高松行	JR予讃線快速リポート 南風丸号・観音寺行	徒歩	徒歩
	9:33発/10:11着	10:30発/11:08着		
三豊市視察 (三豊市役所本庁舎) (13:30～15:00)	高瀬駅	丸亀駅	宿舎（丸亀市内）	
徒歩	JR予讃線快速リポート 南風丸号・高松行			
	16:23発/17:04着			

【3日目】 11月13日（水）

宿舎	丸亀駅	坂出駅	岡山駅
徒歩	JR予讃線快速リポート 南風丸号・高松行	JR快速マリンライナー26号 岡山行	JR山陽新幹線 さくら546号(N700系)・新大阪行
	11:06発/11:15着	11:24発/12:02着	12:14発/12:59着
新大阪駅	(昼食)	伊丹空港	福島空港
	空港リムジンバス 伊丹空港線 伊丹空港北ターミナル行	ANA3181便	
	15:10発/15:35着	16:55発/18:00着	

事務局旅費計算	9/27
---------	------

新政会 視察旅費額

11月11日(月)～13日(水)

2泊3日

議員 5人

※議員1人当たりの金額

項目	金額	期日	行程	距離(km)	金額(円)	備考
航空 運賃	47,800	11/11	福島空港⇒伊丹空港	662.0	16,870	
		11/13	伊丹空港⇒福島空港	662.0	30,930	
鉄道 運賃	18,270	11/11	天王寺⇒木津	44.5	770	
		11/11	木津⇒放出⇒新大阪⇒岡山	232.9	7,450	乗車券 (JR) 木津～岡山 4,070円 特急券 (JR・山陽新幹線) 新大阪～岡山 3,380円 (180.3km)
		11/12	岡山⇒坂出⇒高瀬	76.2	1,450	
		11/12	高瀬⇒丸亀	18.5	430	
		11/13	丸亀⇒坂出⇒岡山⇒新大阪	238.0	8,170	乗車券 (JR) 丸亀～新大阪 4,290円 特急券 (JR・山陽新幹線) 岡山～新大阪 3,060円 (180.3km)
バス 運賃	1,160	11/11	伊丹空港⇒あべの橋駅	20.9	650	
		11/13	新大阪駅⇒伊丹空港	11.3	510	
車賃	777	11/11, 13	須賀川市役所⇄福島空港	21.0	777	10.6×2≒21km×37円
宿泊	26,600	11/11	岡山市内宿泊	乙地方	13,300	
		11/12	丸亀市内宿泊		13,300	
日当	9,000	11/11～13	3,000円	3日分	9,000	
計	103,607					

※旅費計

一人当たり 103,607円 × 5人 = 518,035 円

合計	518,035 円
----	-----------

領 収 証

須賀川市議会 新政会 様

金 額	74,263.50
-----	-----------

但し11/12の視察研修代金として

上記金額正に領収致しました。

26 年 10 月 25 日

内 訳	
現 金	✓
小切手	
振 込	
手 形	



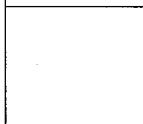
株式会社

代表取締役 佐久間 光

〒962-0847 福島県須賀川市諏訪町
TEL0248-75-2306 FAX0248-75-2456



取扱者印



請 求 書

令和 6 年 10 月 24 日

須賀川市議会「新政会」様

下記の通り請求致します

〒962-0854 福島県須賀川市古屋敷 72-1
株式会社トラベックス
代表取締役 佐久間 光
TEL 0248 (75) 2306 FAX 0248 (75) 2156



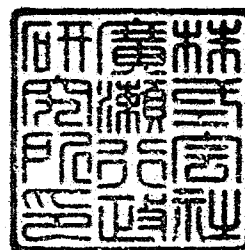
名 称 : 視察研修代金
行き先 : 木津川市・三豊市
期 間 : 11月11日(月)～3日間
摘 要 :

請求金額 ￥426,350

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額
航空券代	5	人	47,800	239,000
JR券代	5	人	17,770	88,850
船車券代(リムジンバス)	5	人	1,160	5,800
岡山宿泊代(1泊朝食)	5	人	9,540	47,700
丸亀宿泊代(1泊朝食)	5	人	7,900	39,500
企画料金(特別補償1,500万)重大事故支援制度対応	5	人	1,100	5,500
小 計				426,350
消 費 税				内税
合 計 金 額				426,350

備 考
※ 恐れ入りますが振込み手数料は、お客様ご負担でお願いいたします。

振込先 : 東邦銀行 須賀川支店(普)1217063 東邦銀行 須賀川東支店(普)0375438
須賀川信用金庫 本店(普)0680011 福島県商工信用組合 須賀川支店(普)3048422
口座名 : (株)トラベックス 代表取締役 佐久間光一



令和7年2月25日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

須賀川市議会 新政会

代 表 市村 喜雄



視 察 研 修 報 告 書

先に実施した視察研修概要について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 期 日 令和7年2月4日（火）
- 2 視 察 先 (1) 福島県双葉郡富岡町 東京電力廃炉資料館
(2) 福島県双葉郡大熊町・双葉町 東京電力福島第一原子力発電所
- 3 視察内容 東京電力福島第一原子力発電所の廃炉について（現地視察）
- 4 参 加 者 市村喜雄（代表）、鈴木正勝、石堂正章、鈴木洋二、柏村修吾
- 5 概 要 行政調査日程及び調査内容は別紙添付資料のとおり



令和7年1月8日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

会 派 名 新政会

代表者名 代表 市村 喜雄



視 察 研 修 届

下記により視察研修を実施しますので諸般の事務処理についてよろしくお取り計らいください。

記

- 1 期 日 令和7年2月4日（火）
- 2 研 修 地 福島県大熊町・双葉町
- 3 研修内容 現地視察「福島第一原子力発電所」
- 4 参 加 者 市村喜雄（代表）、鈴木正勝、石堂正章、鈴木洋二、柏村修吾
- 5 旅 費 139,480 円



須賀川市議会「新政会」 行政視察日程

<<視察先>>
 福島県大熊町・双葉町（現地視察）
 ・福島第一原子力発電所
 担当：東京電力ホールディングス(株)福島復興本社
 復興推進室広域グループ 大竹 様
 電話：024-521-0791（代表）

2月4日（火）

須賀川市役所 ——— 福島空港IC ——— 小野IC ——— 差塩PA(休憩) ———
 7:30 出発 一般道 あぶくま高原道路 磐越自動車道 8:25～8:35 磐越自動車道

いわきJCT ——— ならはスマートIC ——— 廃炉資料館 ———

大熊町・双葉町視察
 (福島第一原子力発電所)
 (10:30～14:10)

 常磐自動車道 一般道 9:30 東京電力専用車

——— 廃炉資料館 ——— ならはスマートIC ——— いわきJCT ———
 東京電力専用車 14:20～14:30 一般道 常磐自動車道 磐越自動車道

いわき三和IC ——— 長沢峠(休憩) ——— 須賀川市役所
 一般道 15:35～15:45 一般道 16:40 到着

新政会 視察旅費額

2月4日(火) 日帰り 議員 5人
 ※議員1人当たりの金額

項目	金額	期日	行程	距離(km)	金額(円)	備考
車賃	24,896	2/4	須賀川市役所⇒福島空港IC⇒小野IC⇒いわきJCT⇒ならはSIC⇒廃炉資料館	—	24,896	・ジャンボタクシー代 121,000円 ・有料道路通行料 3,480円 福島空港IC～小野IC 無料 小野IC～ならはSIC 2,100円 ならはSIC～いわき三和IC 1,380円 ※5人で按分
			廃炉資料館⇒ならはSIC⇒いわきJCT⇒いわき三和IC⇒須賀川市役所	—		
日当	3,000	2/4	3,000円	1日分	3,000	
計	27,896					

※旅費計 一人当たり 27,896円 × 5人 = 139,480 円

合計	139,480 円
----	-----------

須賀市議會新政会様

税抜金額 115,664 消費税(10%) 11,566

但し 2/4 視察研修化金にて

上記金額正に領収致しました。

27年 2月 14日

内 訳	
現金	✓
小切手	
振込	
手形	



株式会社

代表取締役 佐久間 浩
〒962-0847 福島県須賀川市諏訪町
TEL0248-75-2396 FAX0248-75-2158
登録番号：T0380001011199



取扱者印



請 求 書

登録番号:T09380001011999
令和 7 年 1 月 8 日

須賀川市議会 新政会 様

下記の通り請求致します

〒962-0854 福島県須賀川市古屋敷72-1
株式会社トラベックス
代表取締役 佐久間 光
TEL 0248 (75) 2306 FAX 0248 (75) 2156



名 称	視察研修
行き先	東京電力福島第一原子力発電所
期 間	2月4日(火)
摘 要	

請求金額 ¥127,230 税抜金額 ¥115,664・消費税(10%) ¥11,566

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額
ジャンボタクシー	1	台	121,000	121,000
有料道路	1	台	3,480	3,480
企画料金(特別補償1,500万)※重大事故支援制度対応	5	人	550	2,750
小 計				127,230
消 費 税				内税
合 計 金 額				127,230
備 考				
※ 恐れ入りますが振込み手数料は、お客様ご負担でお願いいたします。				

振込先 東邦銀行 須賀川支店(普)1217063 東邦銀行 須賀川東支店(普)0375438
 須賀川信用金庫 本店(普)0680011 福島県商工信用組合 須賀川支店(普)3048422
口座名 (株)トラベックス 代表取締役 佐久間光一

資 料 作 成
購 入 費

請求書

登録番号: T1010001100425

新政会

令和 6 年 4 月 9 日

東京都江東区新木場1丁目18番11号 (〒136-8575)

株式会社きょうせい

代表取締役社長 成 吉



令和6年4月～令和7年3月分

下記のとおりご請求いたします。
(0450-0083393)

ご請求額 ¥14,256.-
内消費税10% ¥1,296.-

お得意様No (請求No) 50-0884507
(404073206)

お支払は令和 6年 5月31日までをお願いします。

品 名	追 録 号 数	数 量	単 価	金 額	備 考
月刊「ガバナンス」 2024年 4月号～2025年 3月号	購 読 料	1	14256	14256	

(振込先) みずほ銀行東京営業部 (001)
普通預金 4913720 かきヨウセイ
(要打電項目) 404073206 シンセイカイ

01240038537
(2)

振込金受領証
(金融機関・コンビニエンスストア等用)

払込人氏名
新政会
様

お問い合わせ番号
500884507

金額 14,256
内消費税額 1,296

受取人
株式会社きょうせい

振込先
みずほ銀行東京営業部
普通4913720
かきヨウセイ

受領印

収入印紙貼付欄
24.4.23
(C.V.S等取納用)

受領日附印

(お客様控)

請求書

2024年 12月 4日

須賀川市議会 新政会

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。
下記の通りご請求申し上げます。
※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役 林 幹 長

東京都港区白子 1-1-10

電話 03 (314) 511-008

《お支払い先》

・振替払込 00150-8-196500

・銀行振込 みずほ銀行虎ノ門支店

普通預金 2835213

・口座名義 株式会社日本教育新聞社

合計請求額	33,000 円	読者コード	28-548407	請求書番号	0004735265
(内税) 【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。					
	品 名	部 数	期 間	金 額	備 考
前回請求額				33,000 円	2023/12-2024/11
今回入金額				33,000 円	
差引繰越額				円	
今回請求額	日本教育新聞	1部	12ヶ月分	33,000 円	2024/12-2025/11
合計請求額	日本教育新聞	1部	12ヶ月分	33,000 円	2024/12-2025/11

振替払込請求書兼受領証 (振込金 (兼手数料) 受領書)

口座番号	001508196500
加入者名	日本教育新聞社
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 3 3 0 0 0
振込先	銀行 支店
おなまえ	548407
ご依頼人	須賀川市議会 新政会
料金 (消費税込み)	円
備考	

(ゆうちょ銀行)

CVS 収納用収入印紙貼付欄

(お客様控)

2024年12月分～2025年11月分
33,000円 (10月2,750円)2024年12月分～2025年3月分
40月分 11,000円

廣 報 費

新政会だより 議会の時間

今回の新政会「議会の時間」は、令和6年度の活動報告となります。発行責任者 市村喜雄 須賀川市八幡町135番地 Tel. 0248-88-9162

令和7年度へ向けての要望 令和6年11月8日提出

令和7年度当初予算では、社会環境の変化を踏まえ、脱炭素社会の実現、人口減少、少子高齢化社会における次世代の人材育成、さらには、賃金の引上げ、原材料費やエネルギー価格等の物価高騰への対応など、喫緊の課題に的確かつスピード感を持って対応していただくことが重要であると感じております。

また中心市街地地区は、全国的な社会問題である、人口減少、少子高齢化、生産力の低下や消費の減少などで、現在の「まち」が維持出来ずに快適な生活が送れなくなりつつあります。併せて近所にある店舗、病院等の施設が閉鎖に追い込まれ、買い物や通院等が困難な状況です。また空き地や空き家等の増加による防災防犯上の不安が生じ、安心安全な生活が脅かされそうになっております。

そうした生活利便性の低下を抑制し、持続可能な都市構造へ移行させるために、『コン



パクトなまちづくり』が必須であり、早急に手を打つこと、そして事業の推進スピードを加速することが必要であると考えます。

今後とも、国の支援措置を最大限に活用

し、それぞれの部署において本市が直面する課題を踏まえた、効果的な予算を編成するとともに、持続可能な財政運営に努めるよう要望いたしました。

令和7年度予算編成などに関する要望事項

- 1 中心市街地のスポンジ化を防ぐ事業、10年後には多くの人が住みたいと思うまちづくりの、単年度計画の積み重ねではない都市機能の充実を総合的に推進すること、併せて専従の「まちづくりプランナー」の配置を図ること
- 2 様々な危機管理に備え、充分に対応出来る「財政調整基金」の積み増しを図ること
- 3 バイオマス発電など再生可能エネルギーへの取り組みの支援強化策を図ること
- 4 事故の無い、安全で安心出来る道路環境

- の整備を促進すること
- 5 地域の防災力向上のため、防災士の資格取得支援と防災リーダーの育成支援を強力に推し進めること
- 6 市民の日常生活、町内会活動等に影響する支援に関する予算を確保すること
- 7 「Rojima」に農家の人が参加できる仕組みづくりを図ること
- 8 魅力ある農業経営のため新しいブランド作物の開発支援を図ること
- 9 持続可能な農業経営のため、農業後継者

- 及び新規就農者に対して支援の強化を図ること
- 10 学習環境の改善に鑑み、体育館への空調設備の設置、校舎の二重サッシ等の整備を図ること
- 11 スポーツ施設の整備について、悠久の里運動公園のグラウンドを「多目的グラウンド」として、人工芝等の整備を図ること
- 12 児童生徒の健全育成に関して、中学校の部活動移行に関する財政支援の充実を図ること

「新政会とは」

長い経験を活かし

市政全体の発展と

正しい判断のもと市民の幸せを願い

堂々と臆することなく

洋々とした態度と姿勢で

すべての分野をまとめ修める

政治集団を目指す

「新たな政治に進進する

市議会議員の会」です

- 会派所属議員
- 市村喜雄（代表）
 - ▼経済建設常任委員会
 - ▼議会運営委員会
 - ▼予算常任委員会
 - ▼須賀川地方保健環境組合議会議員
 - 鈴木正勝（副代表）
 - ▼文教福祉常任委員会
 - ▼予算常任委員会
 - ▼須賀川地方保健環境組合議会議員
 - 石堂正章（幹事長）
 - ▼議会運営委員会委員長
 - ▼総務常任委員会
 - ▼予算常任委員会
 - 鈴木洋二（会計）
 - ▼議会広報常任委員会副委員長
 - ▼総務常任委員会
 - ▼予算常任委員会
 - ▼須賀川地方広域消防組合議会議員
 - 柏村修吾（会計補佐）
 - ▼文教福祉常任委員会
 - ▼議会広報常任委員会
 - ▼予算常任委員会
 - ▼都市計画審議会委員
 - ▼公立岩瀬病院企業団議会議員

令和6年7月4日 北海道登別市 「議会改革について」「消防庁舎の移転について」



登別市議会では、多様性のある議会の実現のため、若手や政治未経験者、女性など幅広い議員活動が出来る仕組みづくりなどが行われていました。

開かれた議会を目指す改革を行ってきた事例として、とても参考になりました。

消防庁舎の移転については、地域ごとに設置された支署が、土砂災害警戒地域内や津波浸水区域内にあることや、建物の老朽化、市街地の構造変化などにより、再編設置、高台移転等を協議検討されていました。須賀川地方広域消防本部も令和元年に浸水被害にあっており、今後の在り方を含め検討する必要がありますと感じました。

令和6年7月3日 北海道苫小牧市 「自動運転バス実証事業について」



苫小牧市は東西約40km、南北約24kmの地形で、バスは市民の交通手段としてなくてはならない交通機関です。しかし、運転手の高齢化と成り

手不足のため市民バス路線の維持が困難になっています。このことから市民バス路線の将来像を見据え支線を維持するための1つの手段として自動運転バスの検証が実施されました。本市においても、これから一層増える交通弱者への対応は課題となっています。

今後の実証実験などを参考にしていく事が必要であると感じました。

苫小牧市・登別市の視察報告の詳細は右のQRからご覧いただけます。



令和6年11月12日 香川県三豊市 「部活動の地域移行について」



三豊市は2006年1月に7町の対等合併により誕生し、旧町ごとの7つの拠点が存在します。市の中心市街地がない、多極分散型ネットワーク

のまちを目指しています。三豊市では、「部活動の地域移行」の単純移行ではなく、教育価値を高めピンチをチャンスに変える「放課後改革」と捉えています。今回の調査を通して、円滑な部活動の地域移行を図っていくためには、指導者の確保、受け皿づくり、人づくり、コミュニティづくりをどのように行うか、そして持続可能な財源確保をどのように構築するかなど、事前の環境整備が大変重要になると感じました。今後の、須賀川市における課題解決策のため、大変参考になる調査となりました。

令和6年11月11日 京都府木津川市 「消防本部(消防庁舎)の移転について」



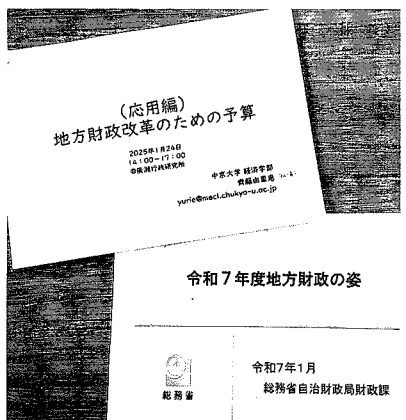
木津川市、笠置町、和束町、南山城村の1市2町1村により構成されている相楽中部消防組合の各構成署所は庁舎の老朽化と本部庁舎が浸水想定

エリアに立地していることから、建て替えが検討されています。また、署所配置の見直しや再整備が課題となっています。新庁舎整備のコンセプトに、①住民の安心・安全な暮らしを支える拠点となる庁舎、②消防力の維持・向上を行える庁舎、③住民に開かれた庁舎、を掲げ新たに基本構想の策定を図り、今後につなげていくこととなっております。

木津川市・三豊市の視察報告の詳細は右のQRからご覧いただけます。



令和7年1月24日 オンライン研修会 「持続的な地方財政のための予算」



今回のオンライン研修会は、郡山市出身で中京大学経済学部准教授の齋藤由里恵氏を講師に、①地方財政の現状と課題、②地方財政に何が求められるのか、③地方財政改革のための予算編成、④今年度予算のポイント、⑤課題解決

への道(事例)についてお話をいただきました。今後の須賀川市勢発展のために、市議会におけるチェック機能と調査に対する活動の一助にして参りたいと考えます。

令和7年2月4日 福島県双葉郡大熊町・双葉町 「東京電力福島第一原子力発電所施設視察」



「東京電力廃炉資料館」「東京電力福島第一原子力発電所」を視察してまいりました。廃炉までの道のりは険しいものであり、その課題の複雑さ大きさを改めて確認しました。現在、廃炉作業に従事している作業員は1日当たり約4000人以上で、その内の約70%が福島県の方々です。次世代まで続くこの「東京電力福島第一原子力発電所廃炉処理」に対しましては、定期的に情報収集を行っていきたいと感じました。

東京電力廃炉資料館・東京電力福島第一原子力発電所の視察報告の詳細は右のQRからご覧いただけます。

